

徳地地域でいちご栽培を始めた先輩就農者たち

勢口寛行さん



【経歴】

- 平成14年就農
- 出身地：兵庫県神戸市

【就農のきっかけ】

会社員時代はメーカー勤務でしたが、事務系職種だったため、自分でものづくりに携わりたいという思いを持っていました。

農業経営は小規模経営であっても、栽培から流通、販売まですべてに主体的に取り組めるところに魅力を感じチャレンジしました。

【就農希望の方へのメッセージ】

強い意志を持って就農を決意しても、研修期間中の生活が不安定であったり、就農への道筋が見えないと自分も家族も長くは持ちません。その点徳地は、行政、公社、JAが一体となり住居、農地、生産設備の確保にあたってくれますので、2年後には必ず農家として独立できます。短い期間だからこそ中身の濃い研修の上就農ができます。

金本和行さん



【経歴】

- 平成15年就農
- 出身地：山口県周南市

【就農のきっかけ】

農作物をつくってみようと思ったのは、やはり食べることに困りたくない！！と思ったことからでした。

【就農希望の方へのメッセージ】

とても大切な1日をどう楽しんで過ごすのかを考えることが、地味で地道な作業をするうえではポイントになると思います。根気強く、がまん強い人は農業に向いていると思います。

すべてが自己責任です！覚悟をもって臨んで下さい。

<問い合わせ先>

山口市経済産業部農林政策課 TEL:083-934-2891 FAX:083-934-2651
山口市徳地総合支所農林課 TEL:0835-52-1115 FAX:0835-52-1301

山口市徳地でいちごを作いませんか？

～徳地いちご生産部会 新規栽培者募集～

徳地いちごの特徴

徳地いちごの生産は50年以上の長い歴史があり、早朝より収穫したいちごをそのまま店頭販売する「朝採りいちご」を主なブランドとして、地元スーパーでも高く評価されています。

いちごは徳地地域における振興品目の一つであり、ベテラン生産者及び新規就農者（徳地チャレンジ農場出身）を中心に部会員が一丸となっていちご栽培を行っています。



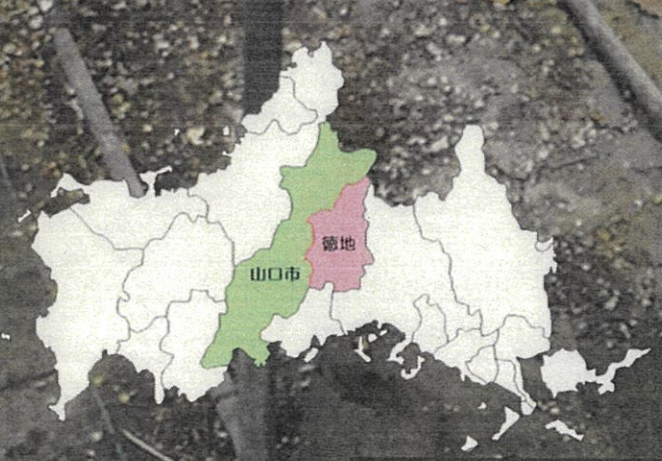
徳地いちご生産部会

(平成29年度)

- 組合員数：14名
- 栽培面積：1.65ha
- 生産量：50t
- 販売金額：5,000万円
- 販売先
丸久（朝どり）
徳山青果市場 など

徳地地区について

山口市徳地地区は山口県のほぼ中央に位置し、北に中国山地を背負い、南は瀬戸内海沿岸方面に続く地域にあり、総面積の89%を山地が占めています。気候は、年間平均気温15℃前後で、年間降雨量は2,000mm前後です。



| | | |
|----------|-----------------|----------|
| 教育 環境 | 保育園 | 4園 |
| | 小学校 | 5校 |
| | 中学校 高等学校(分校) | 1校 1校 |
| 医療 機関 | 病院 | 1か所 |
| 買い物 | コンビニエンスストア | 1店 |
| | スーパー | 1店 |
| | ホームセンター | 1店 |

アクセス：車で防府駅から約30分、山口駅から約40分

経営事例

- 5年後の所得目標：380万円
- 栽培面積：20a（高設栽培）
- 労働力：2名

| | | 機械・施設 | 用途 | |
|------------|-----------|-----------|----------|------------|
| 出荷量(kg) | 9,000 | 軽トラック | 出荷、資材運搬 | |
| 販売単価(円/kg) | 1,000 | 動力噴霧器 | 防除機械 | |
| 粗収益(円) | 9,000,000 | 予冷庫 | 収穫後の傷み防止 | |
| 経費(円) | 種苗費 | 80,000 | パイプハウス | 栽培用ハウス |
| | 肥料費 | 126,000 | 高設ベンチ | 栽培中の作業軽減 |
| | 農薬費 | 232,000 | 暖房機 | ハウス内の暖房 |
| | 動力光熱費 | 520,000 | 電照 | いちごの休眠防止 |
| | 諸材料費 | 960,000 | 育苗ベンチ | 育苗床のベンチアップ |
| | 減価償却費 | 1,972,000 | 灌水ポンプ | 栽培中の灌水 |
| | 出荷経費 | 1,232,000 | | |
| 所得(円) | 3,878,000 | | | |

※ハウス導入に事業を活用した場合の事例です。

| 月 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | |
|------|----|-------|----|----|---|---|---|----------|---|---|---|---|--|
| 主な作業 | 定植 | 収穫・調製 | | | | | | 後片付・ほ場準備 | | | | | |
| | | 採苗・育苗 | | | | | | | | | | | |

求める人材

- 徳地地区に居住し就農していただける方
- 夫婦で始められる方、大歓迎です
- 熱意を持っていちご栽培に取り組める方
- 徳地いちご生産部会の活動に積極的に参加していただける方
- いちご栽培を開始するにあたり、ある程度の初期投資が必要となりますので、経営が安定するまでの間の生活資金を確保できる方（300万円程度）

就農までの流れ（例）

① おためし研修（数日間）

- 「農業経験がない」、「いちご栽培を一度体験してから考えたい」という方のために、数日間のおためし研修を受け入れます。
- 受入条件は以下のとおりです。
 時期：常時
 内容：受入時期に応じた栽培管理（葉かぎ、収穫、調製など）
 日数：数日程度（個別応談）

② チャレンジ農場研修（2年間）

- おためし研修の結果、徳地地区でいちご栽培を希望される方に対し、面接等の審査を経たうえで、徳地チャレンジ農場で最長2年間の実践研修を行い、いちご経営に必要な知識、技術の習得を目指します。
- 研修生には、専用住宅（家賃1万円/月）を用意しています。
- 研修期間中は、農業大学校での定期的な基礎研修を受講し、就農に必要な知識を身に付けます。
- また、先輩農家での場外研修や部会行事（部会員ハウスの定期訪問など）への参加を通じて、地域との関係づくりを行い、円滑な就農を目指します。

③ 就農地の決定、経営計画作成、施設等準備

- 研修期間中に、農地中間管理機構や農業委員会と連携し、農地を確保し、就農地を決定します。
- 就農に向けた経営計画作成し、認定新規就農者の認定を行います。
- 栽培用施設・機械の取得に向けて、資金申請等の準備を行います。

④ 就農

- 栽培用施設・機械を取得し、経営を開始します。
- 部会内で相談役を決めますので、分からないことがあっても安心して相談することができます。

※上記は例であり、就農希望者と相談しながら対応させていただきます。

研修から就農までの支援

- 山口市や徳地チャレンジ農場（山口市徳地農業公社）、JA防府とくち、山口県山口農林水産事務所が一体となって、研修から就農まで支援します。
- 要件を満たせば、研修期間中や経営開始後に、農業次世代人材投資資金（年間最大150万円）等の交付を受けることができます。